

たぐすい

JFグループ兵庫

第26回「山田記念賞」表彰式・祝賀会



特集 兵庫県水産振興議員連盟とJF組合長懇談会

CONTENTS

- 2 兵庫県水産振興議員連盟とJF組合長懇談会
- 4 第26回「山田記念賞」表彰式・祝賀会開催
- 5 JFマリンバンク漁場環境保全活動サポートの実施報告について
- 6 第49回淡路のり品評会開催／
2024年度「虹の仲間づくりカレッジ」実践報告会
- 7 第2回播磨地区女性連オリジナル商品開発会議／
淡路市立 学習小学生 のり加工場見学・勉強会
- 8 ようそろ／「淡路さかな屋マップ」が完成
- 9 兵庫 JCC 通信／協同組合人養成講座の開催
- 10 海の子作品展（絵画）

兵庫県水産振興議員連盟とJF組合長懇談会



JFグループ兵庫水産政策協議会と兵庫県水産振興議員連盟が共催で、令和7年2月18日(火)ホテル北野プラザ六甲荘において「兵庫県水産振興議員連盟とJF組合長懇談会」を開催しました。懇話するとともに、「豊かな海への取組につ



兵庫県水産振興議員連盟が共催で、令和7年2月18日(火)ホテル北野プラザ六甲荘において「兵庫県水産振興議員連盟とJF組合長懇談会」を開催しました。懇話会ではJFグループ兵庫水産政策協議会田沼政男会長から兵庫県水産振興議員連盟浜田知昭会長に要望書をお渡して「豊かな海への取組について」をテーマに話題提供の後、意見交換を行いましたのでその概要をお伝えします。



主催者挨拶をされる浜田議連会長



主催者挨拶をされる田沼協議会会長



来賓祝辞をされる齋藤知事

■ 話題提供

「豊かな海への取組について」

JF兵庫漁連渡部恭宏常務理事から、漁業関係者や行政機関が行ってきた取組を報告するとともに、生物が湧く豊かな海を実現するため、国、県、市町が取り組むべき3つの重点対策を提案しました。

■ 意見交換

大阪湾・播磨灘流域下水処理場からの窒素供給量の増加や漁業者が行う有機肥料を用いた施肥の取組拡大の方策のほか、日本海の栄養塩の状況、温暖化による漁業への影響と対策など、参加者間で幅広く意見交換を行い情報共有しました。また、JF家島中村利公組合長から、「海が悲鳴を上げている。人為的につくられた栄養不足は人で対応可能」と対策を強く求める意見がありました。



出席者(敬称略)

【兵庫県水産振興議員連盟】 浜田知昭、岸口みのる、岸本かずなお、黒田一美、門間雄司、原テツアキ、伊藤勝正、水田裕一郎、山本敏信、北川泰寿、黒川治、松本隆弘、石井秀武、藤本百男、内藤兵衛、北野実、北浜みどり、北口寛人、島山清史、迎山志保、松井重樹、吉岡たけし、岡つよし、戸井田ゆうすけ、天野文夫、橘秀太郎、白井かずや、伊藤栄介、太田やすふみ、住本陽子、なかい隆晃、白井たかひろ、菅雄史、松尾智美

【JF 組合長】 27名 【兵庫県】 齋藤知事、服部副知事、守本農林水産部長、菅環境部長ほか 11名

令和7年度農林水産施策等の推進に係る政策提案書(抜粋)

1. 豊かな海の早期実現に向けた取組について

- (1) 豊かな海の実現に向けた要望について
 - ① 大阪湾流総計画の基本方針に基づく取組と大阪湾奥部の流況改善等
 - ② 兵庫県栄養塩類管理計画の栄養塩類増加措置実施者の追加について
 - ③ 漁業者が取り組む活動への支援について
- (2) 水産技術センターの研究体制の充実について
- (3) 栽培漁業の推進について
- (4) 大阪湾広域臨海環境整備センターの環境対策について

2. 漁業者等の経営安定化に対応した支援について

- (1) 物価高騰対策等の継続支援について
- (2) 北朝鮮によるミサイル発射に対する漁業者の安全確保について

3. 水産物の消費・流通対策について

- (1) 学校給食等への食材提供について
- (2) 県産県消の拡大について

令和7年2月
JFグループ兵庫水産政策協議会

令和6年7月に県当局に行った政策提案と同内容
(拓水815号掲載)



齋藤知事、浜田会長、田沼会長

第26回「山田記念賞」表彰式・祝賀会 開催

～本県水産業の発展に貢献された3名が受賞～



主催者挨拶をされる山田理事長



来賓祝辞をされる齋藤知事



謝辞を述べられる原田さん



【大輪田塾20期生】左から、実熊良太さん(JF神戸市)、松本一輝さん(JF西二見)、坂田健一さん(日本漁船保険組合 内海支所)

記念撮影の終了後、大輪田塾20期生が紹介され、今後の抱負を語りました。

祝賀会では、森吉秀副理事長の開宴挨拶に始まり、齋藤知事が受賞者一人ずつとお話しされるなど、終始華やかな雰囲気にも包まれるなか、なぎさ信用漁業協同組合連合会 村瀬経営管理委員会会長が万歳三唱を行い、幕を閉じました。

山田記念賞 受賞者

令和6年度 兵庫県水産賞受賞者

JF神戸市	原田 和弘
JF福良	小林 新治
JF浜坂	川越 伸二

(一財)兵庫県水産振興基金(山田智昭理事長)主催による山田記念賞表彰式および祝賀会が2月17日(月)神戸ポートピアホテル(偕楽の間)で開催され、県・漁協等の関係者ら64名が出席しました。

今年で26回目を迎える同賞表彰式および祝賀会は、兵庫県の水産業の発展に貢献された3名が受賞しました。

表彰式では、兵庫県 齋藤元彦知事から受賞者へそれぞれ「天与」と命名された「男女漁業者立像」レリーフが贈呈されました。

山田理事長の主催者挨拶の後、兵庫県 齋藤元彦知事、水産系統団体を代表して、JF兵庫漁連 田沼政男会長より来賓祝辞が贈られました。最後に受賞者を代表してJF神戸市 原田和弘様から「この賞を励みとして、今後とも本県水産業の発展のために、微力を尽くしたい」と謝辞を述べられました。

当会なぎさ信漁連が、令和6年度のJFマリンバンク漁場環境保全活動※により、農林中央金庫と共に伴走支援させて頂いた「一宮町漁業協同組合」との活動内容について、下記のとおり報告させていただきます。

※JFマリンバンク漁場環境保全活動とは？
→当会のR6年度事業計画にも盛り込まれ、中期経営計画において重点目標として掲げた「漁村地域の活性化・発展」のため取り組んだ活動のひとつ。
伴走支援(人的支援)と農林中央金庫からの費用助成を組み合わせ、漁協を多角的にサポートし、持続可能なユニークな漁場環境保全活動を全国の浜に展開する活動。

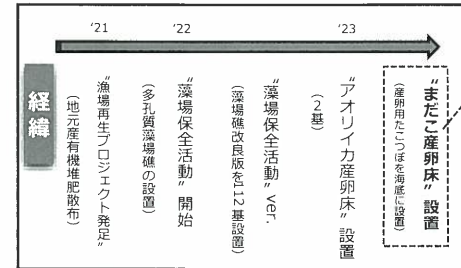
一宮町漁協では、以前より「水産多面的機能発揮対策事業」にて、「漁場再生」、「藻場保全」、「海底清掃」に取り組み、隔年で「かいぼり活動」を実践し、コロナ禍より新たに地元住民への食育活動として「子育て世代親子料理教室」を開催してきましたが、それらは予算範囲内での活動を余儀なくされ、運動性も少ないため、将来的に、単発で終わってしまうこと等を危惧し、これら取り組みの継続及び拡充を目的に、当サポート活動に賛同頂きました。また、当サポート活動については既に「水産経済新聞」や「広報淡路」に掲載されたほか、「日本農業新聞」および「日本食糧新聞」等にも記事が掲載される予定です。



下記した活動②と③にかかるイメージ動画は、こちらのQRコード(Aバンク公式チャンネル)からも確認頂けます。もし宜しければご覧ください！

<漁場再生事業>

①まだこ資源増大事業の改良取組を支援



【取組改良】

直近に行ったばかりで、事業として未完全だった「まだこ産卵床」に関する活動の改良を実行。海の底質粒子が細かく、投入のみでは埋没もしくは、潮で流されてしまう等により、直接的な資源増殖に結びつかなかったという反省を活かし、若手組合員からの発案により、このたび、業者に鋼材魚礁を3基発注し、それらにたこつばを固定して海底に設置。現在も、組合職員がマリンドローンを操縦して、不定期で海中の様子を経過観察中。



<漁場再生事業>

②農漁業協働によるかいぼり(継続実施)

課題点

- ・不定期開催
- ・限られた予算による活動制限
- ・作業人員・PR・認識共有不足
- ・若干マンネリ化したイベント

【新たな取り組み(効果検証)】

不定期開催及び限られた予算による活動制限に対しては、当サポート活動への参画により自然解消し、漁協発案の「効果検証取組」として、かいぼり実施により起こる海中の窒素・リン濃度変化についてひょうご環境創造協会に参加要請。
→「気象条件がまったく同じでないため、海域の植物プランクトン由来か、池由来かの判別は出来ないものの、すべての濃度が上昇し、運動性の栄養塩供給となっている可能性が考えられる」との調査結果が出た。

【イベント要素を加えたPR面の強化】

JAバンクイメージキャラクターである俳優の松下奈緒さんに参加いただき、活動のイメージ動画撮影を行いPR活動を強化出来たほか、漁協発案の子供たちの「池のごみ拾い」や、県漁連の協力による「子供向けの環境学習会やおさかなクイズ」を新たに実施。
昼休憩についても、昨年以前の簡単な昼食から、JAによる新米の提供、漁協提供の海苔・マダイのほか、県漁連から調達したタコの唐揚げ等を、当日朝から漁業者の奥様方や漁協・当会職員が120食調理してくれ、華やかな昼食となった。



<食育活動>

③子育て世代親子料理教室の強化を支援

・令和4年度 漁協の海苔PRもかねて「巻き寿司」製作

・令和5年度 資源管理対象魚種を使用し、「さつま揚げ・鯛めし・刺身他」を献立に採用。

【イベント要素及びPR面の強化】

令和6年度は、過去2年の発展版として、マダイのさつま揚げと、この時期旬の足赤エビの味噌汁を副菜に、メインイベントとして20m超のロング巻き寿司作成に挑戦する運びとなり、参加人員は昨年までの35名規模から105名に増員。かいぼりと同じく、参加団体・人員の増加によりPR面が強化され、また、「淡路市漁業振興協議会」によって、新たに「長い海鮮巻きずし認定制度」が制定される等行政側にも注力頂け、新たな魚食普及のアイデアが産まれた。
JAからはかいぼりに続いて、巻きずしに使用する新米の提供を受けることができ、サポート活動の予算で料理教室用エプロン・食材・包丁他消耗品を調達し、試食後の交流会での余興・お楽しみ抽選会に、なぎさ信漁連・農林中央金庫として物品を協賛のうえ花を添えました。



2024.12.26 水産経済新聞に掲載

第49回 淡路のり品評会 開催!! ~出品のりは福祉施設等に寄贈~

(一社)淡路水交会(片山 守会長)主催による淡路のり品評会が、2月3日(月)淡路水産センター(洲本市)で行われました。

今回で49回目となる同品評会は、淡路島内において生産されるのりの品質改良及び養殖・加工技術の向上を図る目的で毎年開催され、12月から1月上旬までに淡路島内で生産された乾のりについて審査を行うものです。

兵庫県洲本農林水産振興事務所・系統団体の関係者ら10名の審査員が、応募のあった57点の中から一次審査で選ばれた40点を対象に、色・艶・風格・味などを基準に審査が行われ、味見や匂いを嗅ぐ、光に当てて見るなどして審査を行っておりました。

審査の結果、優秀品19点が選ばれ、兵庫県知事賞は元富水産(JF室津浦)が受賞しました。

なお、出品されたのりはすべて味付け加工して、福祉施設等に無料配布されます。

▼審査の様子



〔第49回 淡路のり品評会審査結果表〕

賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	賞の区分	漁協名	経営体名	代表者名	
兵庫県知事賞	室津浦	元富水産	松下時久	なぎさ信用漁業協同組合連合会 経営管理委員会賞	一宮町	伊藤水産	伊藤健吾	
兵庫県議会議長賞	育波浦	柿本水産	柿本幸久		森	安啓水産	畠田安啓	
兵庫県淡路県民局長賞	南淡	北西水産	北本 勉	兵庫県漁業共済組合賞	室津浦	大関水産	岡野門太	
兵庫県漁業協同組合連合会長賞	育波浦	柳川水産	柳川高広		育波浦	内海水産	内海春樹	
兵庫県立農林水産技術 総合センター所長賞	育波浦	桑名水産	桑名幸充	兵庫県JF共済推進本部賞	室津浦	忠庄水産	漣 伊彦	
兵庫県淡路県民局 洲本農林水産振興事務所賞	洲本炬口	ちくば水産	竹岡千尋		森	丸金水産	森 健次	
島内市長賞	洲本市長賞	五色町	大橋水産	大橋宏樹	日本漁船保険組合 兵庫県内海支所運営委員長賞	由良町	ミタケ水産(株)	伊奈正隆
	淡路市長賞	室津浦	南町水産	南 嘉浩		津名塩田	中野水産	谷 忠男
	南あわじ市長賞	湊	三共水産	山形和三郎	室津浦	さざなみ水産	漣 千年	
				一般社団法人淡路水交会賞	仮屋	三大水産	相田治良	

2024年度「虹の仲間づくりカレッジ」 実践報告会を開催しました!

JF兵庫漁連

兵庫JCCでは、県内の協同組合の結びつきをさらに発展させたいとの思いから、「虹の仲間づくりカレッジ」を実施しております。「虹の仲間づくりカレッジ」では、県内の協同組合の職員が集い、宿泊での交流も含めた全4日間の研修プログラムの中で、グループワークによって地域の中にある共通課題を見つけ、その改善・解決のために「協同組合間協同」によって企画を練り、実践し、報告会にて発表を通じて、それぞれの団体が果たすべき役割について考え、相互理解を深めていくことを目的としています。

本年度は、7団体19名が下記の4グループに分かれ、2月19日に実践報告会を無事に終えることができました。

2015年から続くこの取り組みは、本年度の第9期を含め、これまでに180人以上がカレッジを巣立っていきました。



年度/人数	全体のテーマ	実践企画(実施場所)
2024年度/19人	SDGsの目標をふまえて『生産』『環境』『地域のコミュニティ』などが抱える課題を「協同組合としていかに解決するか」という視点で考え、実践につなげる。	①「班名/食べるの大好き中村ゼミ」: 野菜クイズ・魚の手づかみ体験・親子料理体験を通して、野菜と魚をもっと好きになってもらう。(水産会館) ②「班名/作り手の思い伝え隊」: クイズ形式のスタンプラリーを通して、エシカル消費の価値を理解してもらう。(JA兵庫南にじろふあ〜みん) ③「班名/まなび」: 体験格差をテーマに未体験の親子を対象に農業体験を通して、参加へつなげるきっかけをつくる。(エコファーム) ④「班名/つながり」: 地域の高齢化の進展に伴うつながりの希薄化をテーマに、高齢者を対象に困りごとのアンケート実施を通して、地域のつながりのきっかけをつくる。(JA兵庫南 高砂西支店)

「第2回 播磨地区 女性連オリジナル商品開発会議」

播磨地区漁協女性部連合会

2月12日(水)、播磨地区漁協女性部連合会は、JF兵庫県漁連水産加工センターにて、第2回播磨地区女性連オリジナル商品開発会議を開催しました。

今回のオリジナル商品会議では、高山会長(JF明石浦)が干しダコ・クロダイの干物、隅谷副会長(JF林崎)が生のり・味付けのり・焼きのり、津田副会長(JF室津)が牡蠣・舌平目、と女性部役員で各浜の魚介類を持ち寄り、魚の下処理から手際よく調理され、下記の8品の試作を行いました。

- 「ふりかけ(干しダコ・タイの干物・焼きのり)」
- 「干しダコ飯」
- 「干しダコの砂糖醤油漬け」
- 「干しダコのオイル漬け」

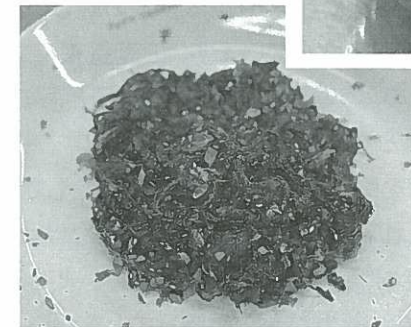


「生のりのつけもの(うめしそ風味)」
「海苔バター」
「殻付きカキグラタン」
「舌平目の唐揚げ」
商品開発の試作中にも、干しダコの調理法や殻付きカキの剥き方や舌平目のさばき方のコツなど、魚料理についての耳寄り情報が飛び交う商品開発会議でした。

来年度の商品化を目指し播磨女性連一丸となって取り組んでいきます。



干しダコ飯▶



◀生のりのつけもの(うめしそ風味)

淡路市立学習小学校 のり加工場見学・勉強会

JF森

1月30日(木)、淡路市立学習小学校の4年生(46名)がJF森を訪れ、のり加工場見学及びのり勉強会が行われました。

毎年恒例となっている見学会と勉強会を本年も無事開催する事ができました。

見学会では、巖水産と音蔵水産の2水産にご協力いただき、のり生産工程を見学しました。生産工程の見学では、乾燥させる前ののりの状態など、普段見ることのできないのりができるまでの工程を見ることができ、小学生は興味津々で目を輝かせていました。

勉強会では、同JF2階の事務所でJF兵庫漁連 小西好氏、森重雄大氏がのり採苗から収穫までの作業工程について動画を基にお話されました。勉強会の内容についてクイズの出題もあり、皆さん積極的に手を挙げて回答していました。

勉強会と見学会を通して小学生にとってのり生産について理解を深める1日になりました。

最後に、JF森 代表理事組合長 森吉秀氏より、同小学校全校生徒の給食用に味付けのりが寄付され、小学生に地元の水産の魅力の魅力を伝えました。



勉強会の様子



のり加工場見学の様子

漁師になりたい?



大輪田塾8期生(JF仮屋) 津國 和哉

大輪田塾8期生の津國です。今年で大輪田塾も20年という事で時代の流れを感じます。

大輪田塾に32歳の時に入塾した私も44歳のええとしになりました。

在学中はレポートの提出が溜まって水産振興基金の事務所でまとめて書いたり県職員の指導の担当の方と飲み友達になったり在学中に結婚など色々おもしろいことがあります。

大輪田塾では漁師をしてるだけでは知ることができなかったことを学べて勉強になる事も多かったし自分の漁法以外の人達と知り合えたり漁連や系統団体や県職員の人達と知り合えたのは今でも大事なつながりだと思っています。

本当に周りに助けていただいて無事卒業できました。この場を借りてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

私には子どもが8歳、7歳、3歳の3人います。この間小学校の7歳の長男が作文を書いてクラスから選ばれて全校生の前で発表したのですがその題が『漁師になりたい』でした。

私が大輪田塾に在学中から漁業の厳しい状況はあまり変わらず燃料高騰や資材の高騰などはここ1年ますます酷くなっています。正直将来にこの仕事についてほしいとは思っていませんでしたが、担任の先生にそのような話をしたところ「子どもの夢を大事にして下さい、父親の仕事に憧れるのは素晴らしいですよ。」と言ってくださいました。

その言葉を聞いて、無理にこの仕事をしてほしいとは思いませんがこの子の仕事の選択肢の一つに漁業を入れるように頑張っていかなければなと思いました。

持続可能な漁業と難しいことは言いませんが子供達が未来にもできる仕事であってほしいと願います。そのために微力ながら頑張っていきたいと思います。

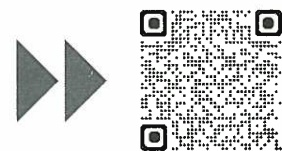
「淡路さかな屋マップ」が完成

淡路地区漁協青壮年部連合会から「淡路さかな屋マップ」が発行されました。このマップは淡路島にあるさかな屋さんを地図に表したものであり、「地元魚をどこで買うことができるのかわからない」という声が多くあったことから作成されました。

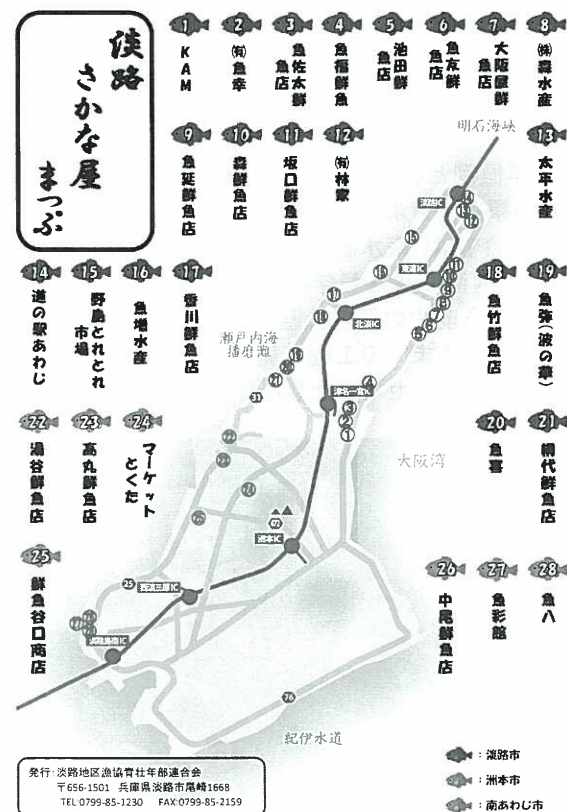
淡路島に遊びに行くことがありましたらこの「淡路さかな屋マップ」を参考にさかな屋さんへ行って美味しいお魚を購入されてみてはいかがでしょうか。

SEAT-CLUBのホームページに掲載されていますので、詳しく見たい方はホームページのQRコードとURLを記載しておりますので、そちらから確認ください。

「淡路さかな屋マップ」の詳細はこちらのQRコードか下記のURLから!



<https://www.seat-sakana.net/awajisakanayamap/>



JAあわじ島 ほ場の環境を整え カリフラワーの収穫量確保を目指す

南あわじ市の野田康人さんは、JAあわじ島の職員として勤務していましたが、農業の魅力を語る生産者と関わるうちに自身も挑戦したいと思うようになり、兼業農家として水稲の栽培を開始しました。農作業に打ち込む中で農業の魅力にますます惹かれ、昨年3月末に退職し、専業農家に転向しました。

営農相談員からの勧めで始めたカリフラワーは、今年度初出荷を迎えます。ほ場が元々耕作放棄地であり作物が育ちにくい環境であったため、収穫量の確保を目指して土づくりに力を入れています。土づくりには、前作で残った土壌中の余分な肥料を吸収する効果がある緑肥ソルゴーを使用しています。緑肥ソルゴーは、根が深さ90cm以上に達する植物であり、作物の栽培に適した土壌の団粒化や下層土の硬化化等の効果も期待でき、土壌環境を整えるのに適しています。

また、カリフラワーはカビや細菌性の病気にかかりやすい傾向にあるため、25cmほどの高い畝を作り、土に余分な水分が含まれない水捌けの良いほ場づくりに注力しています。

これらの取組みにより、初年度から約2,400kgの収穫量を見込んでいます。JAあわじ島南淡支所賀集経済センター営農主任古住彰梧さんは「野田さんは、カリフラワーに加え、広大な面積のほ場でタマネギ等の栽培にも力を入れており、南あわじ市の農業を牽引する存在となっています」と話します。

野田さんは今後、収穫量の安定化を図りながら、全体の約8割を高値で取引されるLサイズ(直径14cmほど)のカリフラワーにしていきたいと意気込みます。



<https://ja-grp-hyogo.or.jp/>

第23回 税務・経理講習会

1月21日兵庫県生協連主催の「第22回税務・経理講習会」を会場参加とオンライン(Zoom)の併用で開催し、会場参加11名を含む29名(7会員生協 7子会社)が参加しました。

税理士の江藤俊哉氏から綿密な資料に基づき「2024年度税制改正」「新リース会計基準と税務の注意点」「決算と税務に関する注意事項」などについて詳しく講義いただきました。

受講者からは「新リース会計については、自分自身が知識不足のため難しかったです。資料が分かりやすくまとめられていたので助かりました」「新リース会計基準については引き続き次年度にも講習をお願いしたいです。特に賃貸借契約と物件リースなど具体例を挙げていただくとありがたいです。」「経営に関する内容全般において、引き続き学習の機会を設けていただけますと助かります」などの感想が寄せられました。



講師 江藤 俊哉税理士



会場参加者

<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

協同組合人養成講座 3月講座 3月18日(火)のご案内

開催時間	講座名	講義団体の名称
13:00~14:30	Excelの使い方・上級編【全編】	JF兵庫漁連 指導部 指導担当 田中 久善 YOUTUBEを活用して講義を実施致します
14:40~16:10	「漁場環境」ブルーカーボンについて	徳島大学環境防災研究センター 客員教授 中西 敬

JF兵庫漁連

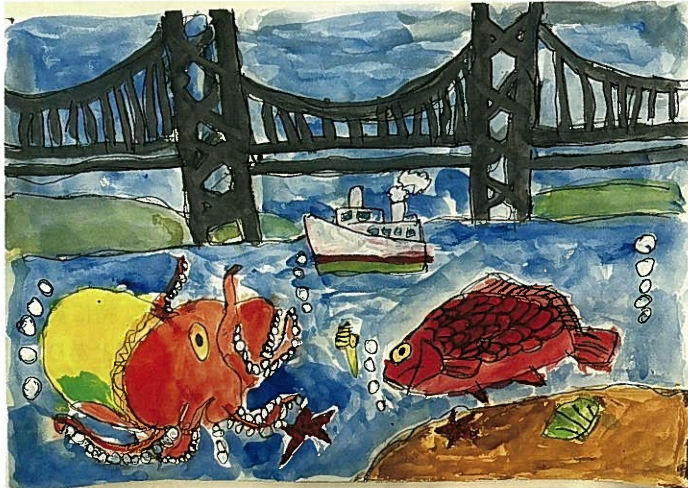
講座はWEB受講も可能ですので、多数の方々の参加をお待ちしております。また、会館での参加者による情報交換会では、簡単な食事と飲物を交えての職員間のコミュニケーションが図れますので、会館での受講にも参加下さい。

令和6年度

「ひょうご海の子作品展」絵画部門受賞者決定!!

JF兵庫漁連とJF兵庫女性連は、輝く未来を担う小中学生に、海を愛し、美しく豊かな海を守ることの大切さと漁業に親しむ心を育てるため、「ひょうご海の子作品」(絵画)を県下の小中学生を対象に募集し、261点のご応募がいただきました。

令和6年11月15日に最終審査会を行い、受賞作品が決定いたしましたので、入選された皆さんをご紹介します。
(作文部門は、拓水4月号に掲載予定)



<兵庫県知事賞> あかしのうみ
明石市立二見小学校 1年 松田 望愛さん



<兵庫県教育長賞> 夏の思い出
明石市立二見小学校 5年 穠原 広大さん

令和6年度 ひょうご海の子作品展 受賞作品一覧(絵画)

賞名	学校名	学年	氏名	題名
兵庫県知事賞	明石市立二見小学校	1	松田 望愛	あかしのうみ
兵庫県教育長賞	明石市立二見小学校	5	穠原 広大	夏の思い出
兵庫漁連会長賞	市川町立市川中学校	3	藤本 麻彩	カニの選別
	明石市立二見小学校	2	神足 尚音	魚いっぱいおおいでるよ
兵庫女性連会長賞	加古川市立平岡東小学校	3	木元 優貴	うみのえ
	神戸市立霞ヶ丘小学校	5	山西 美理華	海のゆかいな仲間たち
農林中央金庫大阪支店長賞	加西市立宇仁小学校	2	鷹取 遵	明石だこのヌルヌルダンス
	加古川市立平岡東小学校	6	山崎 結琥	ウツボ
なぎさ信漁連理事長賞	明石市立二見小学校	1	上坂 陽菜乃	漁師さんとおさかな
	洲本市立青雲中学校	2	谷川 陽香	活気づく漁港

※紙面の都合上、佳作は掲載しておりません。

表紙の言葉



第26回山田記念賞表彰式・祝賀会

山田記念賞は本県水産業の発展に尽くされた故山田岸松氏を偲び、そのご功績を記念して平成3年に創設され、水産業の経営、技術に優れ、多年にわたり本県水産業の振興に貢献し、その功績が顕著な方々に、栄誉を讃えるものです。